

令和7年度

学校関係者評価書

東北ヘアモード学院
学校関係者評価委員会

全体評価

「心を育て技を磨く」を教育理念とし、理容美容業界人としての在り方やマナーを身につけることに主眼をおき、適切な指導を積み重ねた結果、学校全体として非常に落ち着いた環境が定着している。入学者数に関しては、理容科・美容科ともに定員充足には至っていないものの、美容科の入学生が微増したことに加え、今年度は私立高校との教育連携をさらに強化したことで、これまで以上に地域に根差した教育を実践することができた。今後はこの連携を活かしつつ、地域のサロンと連携した総合実習の内容を更に充実させ、実践力を磨ける魅力あるカリキュラムを広く周知することで、来年度のさらなる発展を期待する。

項目別評価

(1) 教育理念、教育目標

教育理念、教育目標に沿った指導を行っている。今後も継続して学生や保護者だけでなく一般に周知していただきたい。

(2) 学校運営

概ね良好である。密に連携を図り良好な学校運営を望む。

(3) 教育活動

地域のサロンから協力を得て、実践的な授業が充実してきている事は評価できる。今後は、さらに踏み込んだ実践的教育のあり方を追求されることを期待する。

(4) 学修成果

国家試験合格率を上げるために、筆記試験対策が来年度の課題である。少人数の学校なので100%を常に目指し努力して欲しい。

ネイル検定も全員合格できるように努力して欲しい。

(5) 学生支援

昨年同様「特待生制度」、「女子学生アパート家賃減免」が実施されたことを評価したい。学生支援の原資を確保する上でも寄附金、後援会など方法を考えてもらいたい。

社会人の受入れを積極的に行うため、各種支援の周知を行って頂きたい。

(6) 教育環境

地域企業などと連携しインターンシップや特別授業などの取組みは評価できる。

更に特別授業の回数を増やし職業観を養ってほしい。

防災マニュアルの作成を急いでほしい。

(7) 学生の受入れ募集

理容科美容科ともに定員確保ができなかった。競合校の動向、少子化や大学全入学、経済状況の悪化、業界の縮小等の問題はありますが、定員確保に努力してほしい。

(8) 財務

入学者数が増加するよう、独自の SNS などを更に強化し情報を発信しながら学生募集を行い今後も安定した財源を確保できるよう努めて頂きたい。

(9) 法令等の遵守

法令を遵守していると確認した。

(10) 社会貢献・地域貢献

市内の私立高校と連携し、高校卒業と同時に美容師国家資格を取得できるコースの新設や、高校在学中にネイル検定の資格取得を目指すコースなどを新設し、地域の美容教育に更なる貢献ができていることは評価できる。